

教育用語辞典

「教育用語辞典」第4回目です。今回も選択肢を用意いたしました。職員室でのお茶のおともに、お隣の先生と出題しあってお楽しみください。

【小中一貫教育】

レベル★

「しょうちゅういつかんきょういく」

従来の六・三制を見直し、小中学校の9年間を、子どもの（A発達の実態・B興味関心）に応じて区分けし、一貫した教育を行うことで（A保護者の支持 B教育の効果）を高めようとすること。

公立学校で初めて小中一貫教育に取り組んだ、（A広島県呉市 B栃木県栃木市）の五番町小、二河小、二河中の三校では、「六・三制」の義務教育を前期（一〜四年生）▽中期（五〜七年生）▽後期（八〜九年生）の「四・三・二制」に区切り、特色ある教育課程を編成している。

【確かな学力】

レベル★★

「たしかながくりよく」

「確かな学力の向上のための2002アピール」〔A教えるすすめ B学びのすすめ〕（文部科学省）により、教育界に広く認知された。この中で「確かな学力」の向上のため5つの方策」が示されている。また「確かな学力」を育む「わかる授業」の創意工夫例」（文部科学省）には、「確かな学力」とは「（A生きる力 B心の教育）」を「知」の側面から見たもの」であり「自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」とある。

【アカウントビリティー】

レベル★★★

「あかうんたびりてい」

邦訳は「説明責任」。学校の教育目標、教育計画、経営の方針、教育課程等々それらの達成状況を、保護者や（A地域の人々 B教育委員会）に説明する責任のこと。近年、「開かれた学校」が叫ばれ始めたことからクローズアップされてきた。学校教育の場合、（A映像 B数値）で説明できない部分も多く、そのため十分な理解が得られない嫌いもあることから、保護者や地域社会との（Aコミュニケーション B合同事業）をより多く持つことが大切である。



【答え】

小中一貫教育 A・B・A
確かな学力 B・A
アカウントビリティー A・B・A